

令和7年度（2025年度）熊本市観光振興推進協議会

■開催年月日：令和8年（2026年）3月2日（月）

■開催時間：午前10時～正午

■開催場所：桜の馬場 城彩苑 多目的交流施設

■委員

（敬称略・五十音順）

所属	氏名	備考
株式会社エイチ・アイ・エス 取締役	岩間 雄二	ご欠席
株式会社ON-do 代表取締役	岡村 政志	
熊本経済同友会 幹事	尾道 早織	
Webサイト「けんさむの熊本紹介」 運営	けんさむ	
東海大学 文理融合学部 地域社会学科 客員教授	小林 寛子	ご欠席
熊本県旅連女将の会 熊本支部 肥後椿会 会長	西上 真理子	
熊本国際空港株式会社 営業本部 営業推進部 課長	羽田 勇	
九州旅客鉄道株式会社 執行役員 熊本支社長	三浦 基路	
株式会社アドアストラ 代表取締役	モーガン ジェイソン デイビット	ご欠席
一般社団法人 観光ボランティアガイド くまもとよかところ案内人の会	本山 素子	

■事務局：熊本市・（一財）熊本国際観光コンベンション協会

【会議資料】

- 次第
- 座席表
- 資料 戦略に基づく令和8年度取組（案）

【議事】

1. 開会

- 令和7年度熊本市観光振興推進協議会を開催いたします。
本日は、戦略に基づく令和8年度を取組案につきまして、当初予算の要求状況をご報告いたしました後、令和8年度以降の取組について皆さまのご意見をいただければと思います。（事務局）

2. 議事

- 事務局説明
 - 資料 戦略に基づく令和8年度を取組（案）について説明
- 意見交換

基本方針1 世界に選ばれる観光都市・熊本の創造

【熊本城】

- 教育プログラムなどを活用し、小中学生などの若い世代が熊本城の魅力や復旧の過程を学ぶ機会を増やすことで、郷土愛の醸成や、自律的に行動できる人材の育成につながるのではないかと思う。

【食のイベント】

- とても楽しみにしている。1回のイベントに大きな予算を当てるとよりも、長く続けていくイベント（例えば年に4回など）に少しずつ予算が当てられた方が良い。少ない予算でも、皆で知恵を出し合い、継続していく中で認知を高め、より大きなイベントへと育てていくことが大事。
- 第4土曜日に定期開催されている、白川夜市との連携なども良いのではないか。
- 熊本駅前広場でも2月の3連休にマルシェを開催しているので、連携できると良い。
- 熊本空港でも是非連携したい。また、関東圏（羽田空港）や関西圏（伊丹空港）での開催についても、近隣住民の方や空港で働く方を含めニーズが高いと思う。
- 空港は、「飛行機に乗りたい、旅行に行きたい」という気持ちを高めてくれる場所なので、空港や駅など、交通結節点でのイベント開催は、「実際に熊本へ行ってみよう」という気持ちを強くしてくれるのではないか。熊本ファン獲得にもつながると思う。
- 飲食店フェアについては、既にある魅力的なメニューの発掘や集約・PRも良いのではないか。各飲食店や宿泊施設では、既に地元産品を使ったメニューを持っていると思うので、新規メニューの開発を条件とすると、負担が大きい割にメニューの魅力向上が難しくなり、その期間限定の提供で終わってしまったり、お互いにとって無理が生じたり

するのではないかと思う。

【イベント】

- 観光のピーク時（10～11月）に開催されるイベントが多い印象がある。平準化の観点から、オフ期のイベント充実が重要かと思う。全体のキャパシティ拡大や、オーバーツーリズム（駐車場が満車で駐車できない等）・イベント事業者の人手不足への対策にもつながるのではないか。
- 令和8年度7～9月のディステイネーションキャンペーン後も、熊本をPRしていくので、情報発信など協力したい。花畑広場5周年については、熊本駅前広場も同じく5周年となるため、連携していきたい。

【歴史文化】

- 記念館など、建物そのもののみを発信しても、元々興味のある層にしか響かない。周囲の魅力的な風景や通りなど、より広い層に響く、且つ持続的に在り続けるようなものを見出して発信する必要がある。
- 夏目漱石来熊130周年記念事業などが予定されているが、一過性のイベントにならないよう、熊本に在り続ける肥後細川文化などにつながるような内容を含められると良いと思う。

【水前寺・江津湖エリア】

- 江津湖周辺は、深呼吸して背伸びをして、どこか清々しく気持ちよく過ごせる場所だと思う。イベント開催の場所などを検討する際も、来場者にどのような気持ちになって帰ってもらいたいのか、という観点を持つと良いと思う。
- 地域では、水前寺成趣園と江津湖をつなげていきたいという声があがっている。観光を軸に、教育、都市、環境、文化など他分野で連携して磨き上げていけると良い。何らかのモデルエリアなどに位置づけていただけると分かりやすいのではないかと思う。
- 比較的時間をかけてゆっくりまわれるエリアであり、ガイドで案内した際は、野鳥を観察したり地元の方と話したりしながら湖畔を散策して大変喜ばれた。
- ルフィー像など、見所も多いので、スポットをつないでエリアとしての魅力をうまく見せられると良いと思う。

基本方針2 訪れる人にやさしい滞在環境の構築

【ガイド】

- 韓国の方をガイドで案内した際、江津湖や新町古町のまち歩きを大変喜ばれた。地元住民やお店の方との交流が思い出に残られたようで、また来たいと言っていた。案

内だけではなく、地元の方とのふれあいなどを大事にすることで、リピーターや熊本ファン獲得につながるのではと感じた。

【地域通訳案内士】

- 育成とビジネスはセットだと思うので、地域通訳案内士を育成した後のビジネス（働き口）につなげることが大事。資格がビジネスにつながらないと、単にハードルを上げるのみにってしまう。
⇒現在、地域通訳案内士の皆さまにはフリーランスとして活動していただいているが、今後、より活躍の場を増やしていく必要があると考えている。（事務局）

【観光人材育成】

- 複数年度で一定分野のテーマを継続する、学生向けの講座を通じて地元への就職につなげる等、「どのような人材を育成したいのか」という長期的な視点を持って実施してほしい。
- 歴史文化の講座を単体で開催しても、元々興味がある方しか参加しないのではないか。例えば、合同就職説明会やインターンシップなどの場を活用して、熊本の歴史文化、観光、マナーなどを学ぶ講座を開催すれば、イベント自体の魅力や集客力の向上にもつながると思う。
- マナー、礼儀作法、気遣いやおもてなしなどの精神文化を学ぶ場も必要。
- 各国の文化や風習、行動特性などを知ることによりスムーズなおもてなしが可能。それらに特化したマナー講座の活用なども良いと思う。

【多言語対応】

- 同じ中国語でも繁体字と簡体字で大きく異なる。国際情勢などもふまえて丁寧に進めてほしい。
- 国内の主要空港（羽田空港や成田空港など）において、中国語は簡体字表記がメインとなっているが、熊本空港では圧倒的に台湾からの利用客が多いという状況をふまえて、全ての多言語媒体に繁体字表記を追加している。熊本市内でも、台湾からの旅行者が多いことから、繁体字の対応は必要かと思う。多言語対応を進める際にどの言語を記載するかについては、十分に配慮のうえ、検討を進めてほしい。

【交通情報の提供】

- 上熊本駅で、バスの運行情報を表示している。交通結節点においては、バスと鉄道の両方の情報を提供する必要があると思う。ツール等を導入する際などは、事前に情報共有の上、連携して進めていく事が重要。

【トイレ】

- 熊本市内の公衆トイレが汚いというご意見があがっていた。トイレのきれいな使い方についてのアナウンスなども有効かと思う。洋式化についても進めていく必要がある。

基本方針3 強みをいかした戦略的な誘客促進

【台湾へのプロモーション】

- 熊本国際空港は、桃園国際空港などと包括連携協定を締結している。また、3月末からは熊本ー台中線が就航し、台北、台南、台中、高雄と繋がる。台湾向けプロモーションについては是非連携していきたい。

基本方針4 観光振興を通じた熊本市の活性化

【伝統芸能の保存】

- 流鏝馬や茶道などの伝統芸能を保存継承していくために、市の文化部門などからも伴走支援していただきたい。

【町屋の保存活用】

- くまもと歴史まちづくり計画の重点区域における町屋等の保存・活用の支援について、詳しい内容を知りたい。
⇒重点区域である、新町・古町を中心とした城下町地区と川尻地区における、町屋修繕等に対する補助や、町屋を利活用したい方とのマッチング支援等を行っている。それらの取り組みを通じて、エリアの活性化と賑わい創出、ひいては観光振興につなげていきたいと考えている。

【宿泊税】

- 宿泊税の導入によって、熊本市以外への宿泊が増えるのではないかという懸念もある。宿泊税によってどのような取組を実施し、どのような効果が出ているのか、納税者である宿泊者にも特別徴収義務者である宿泊事業者にも明確に分かるような見せ方をしていただきたい。

【関係者間の連携】

- 類似のイベントが同時期に実施されたりする（LUX Night Kumamoto と花博など）ので、関係者間でより連携を深め、重複や無駄を省くことによる効率化やスケールメリットの創出を図っていく必要があると思う。
- 正式決定前で良いので、関係企業に対しても早めの情報共有をお願いしたい。